

平成29年度 学校評価

八代白百合学園高等学校

学校教育目標	<p>校訓を自分のものにしよう</p> <ul style="list-style-type: none">○ 従 順<ul style="list-style-type: none">①良心の声に素直に従おうとしています。②人の話を謙虚に聴くことができます。③社会の正しい決まりを守ることができます。④周囲に流されることなく、よりよいものに向かっていきます。⑤善に反することは断る勇気を持っています。⑥自分の役割を責任を持って果たします。⑦物質的な豊かさの中にあっても、ぜいたくに流されないよう心がけています。○ 勤 勉<ul style="list-style-type: none">①自分の能力をみがき、可能性の実現に努力します。②学習の習慣が身についています。③創造するよろこびを知っています。④将来の目標をもち、その実現に向けて努力します。⑤人のいやがる仕事や、目立たない仕事をいとみません。⑥人とのかかわりを大切にして、前向きに努力します。⑦失敗にくじけず挑戦します。⑧健康的な生活習慣が身についています。⑨生涯を通じて自己を高めようとしています。○ 愛 徳<ul style="list-style-type: none">①自分と同じように他人を大切にします。②自分の過ちを認め、謝ることができます。③他人の過ちをゆるそうと努めます。④自然で美しい言葉遣いや礼儀作法が身についています。⑤女性としての特性を人々のために活かそうとしています。⑥感謝、思いやりなどを言葉や行動で表わすことができます。⑦人の喜びや悲しみに共感する心が育ち、相手の立場に立って考え行動することができます。⑧人のため、社会のために何ができるかを考え、行動することができます。
今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none">・ 特別進学コースの充実 (国公立大への合格者数の増加)・ 基礎学力向上に粘り強く取り組む・ 部活動の活性化 (それぞれの目標を明確にして、その達成に取り組む)・ 特別支援教育の充実 (建学の精神を基盤にした、特別支援教育・共生教育の充実)

総括表

評価項目		評価の観点・目標	具体的な方策	評価	成果と課題	
大項目	小項目					
学校経営	特色ある学校づくり	建学の精神の実践	<ul style="list-style-type: none"> 校訓への理解度を深める教育を推進 宗教的行事等の学校行事に保護者の参加を呼びかける 	A	学校生活の様々な場面で建学の精神に基づいた校訓についての教育を行った。保護者への建学の精神への理解についても推進したい。	
		姉妹校との連携	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行時に白百合女子大学への訪問を行い同じ建学の精神に学ぶ理解を深める 各姉妹校へのビデオレターでの交流 各姉妹校間の直接交流を図る 	B	大学訪問や、姉妹校交流等で生徒にも全国にある白百合学園が共通の建学の精神のもとに学んでいるという理解を深めることができた。姉妹校間の直接交流に関しては一部の部活動単位での交流は行っているが今後は学校単位での交流も視野に活動したい。	
		コースの特色を生かした教育活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導に取り組む 	B	それぞれの特色に合わせたきめ細やかな指導を心がけているが、編成だけではなく生徒それぞれに合った対応も必要であるため充実を図る。	
	開かれた学校づくり	情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> 学校HPの更新・充実を図る 広報誌「八代白百合学園だより」での適切な情報発信 	A	HPの更新については担当者により各種行事毎に随時行った。今後も正確な情報発信に努め、学校の取り組みを外部にアピールする。また中学生にも読みやすい内容を目指す。	
		保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会総会、定例会の充実を図る 保護者への情報発信 	A	各行事連絡やその他の連絡情報発信としてメール配信システムに効果的に利用した。保護者へ向けた各行事に対して積極的な参加を促し、参加しやすい日程の設定等調整を図る。	
		同窓会、後援会や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 12校園連絡会で地域学校との情報交換を積極的に行う 情報発信の充実 地域行事への同窓会との取り組み強化 地域と充実した連携を図る 	A	ユネスコ文化遺産に登録された妙見祭に同窓会と学校合同での参加や生徒による地域の小学校への学習指導、部活動のによる地域小中学生に向けた練習会等を実施した。また地域町内である井上町との連携により夏祭りの手伝い、花いっぱい運動、あいさつ運動等も行い連携を強化することができた。	
	学力向上	基礎学力の向上	学びなおしの実践	<ul style="list-style-type: none"> 教材を有効活用し基礎学力の定着を図る 習慣化と充実のために学習方法の指導により予習復習の徹底を図る。 	A	マナトシを活用しGTZの値の向上に努めた。テストの分析を行い学力向上を図る。
		職員の指導力向上	社会の変化に対応した教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の充実 	B	教員の資質向上のための各種研修へ積極的に参加し指導力向上に努めた。校務分掌での職員研修会や研究授業等充実させたい。

学力向上	学習習慣の確立	家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 課題の適正化による家庭学習の習慣化 	B	家庭学習については内容や学習時間について実態把握に努めた。日々の効果的な課題についても研究する。
	クラス編成	特別進学クラス対応	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望対応できる学力向上を推進する 	B	課外授業については小テスト形式により進路を見据えた学力の定着を図った。個別指導と教科間の連携強化が必要。
キャリア教育の推進	進路目標実現	インターンシップの活性化	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ参加者について2学年全員の参加を図る 協力企業の増加を図る 	B	2学年を対象に実施した。協力企業数、職種についても生徒の希望を反映することができたが、学年全員での取り組みとはならなかったため、来年度実現に向け調整する。
		進路意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 進路ガイダンスの実施 大学模擬授業の実施 進路講演会の実施 面談の充実 	B	個別の小論文指導や面接指導の対応を全職員で行うことができた。進路ガイダンスにより具体的な進路指導が実施できた。今後はLHRでの進路意識向上のための指導にも取り組む。
生徒指導	生活指導	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、服装、時間の厳守等ルールとマナーが身につくよう整容指導を徹底する 	A	挨拶については多くの生徒が指導の必要なく気持ちよくできている。服装やルールとマナー等に関しては常時指導を行っているため学校生活も落ち着いたものとなっている。
		交通安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 通学時の街頭指導を行う 交通安全指導での自転車交通講習 	A	定期的な街頭指導により自転車通学のマナー向上に努めた。通学時の携帯電話の利用等指導を徹底する。
		建学の精神に基づいた生徒指導の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> 宗教教育、人間教育の観点から生徒指導を行う 	B	単なる規範意識の向上だけでなく、精神性・道徳性の向上を目指す。
生徒指導	ボランティア活動の推進	奉仕活動への理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動への積極参加を促す 各種支援施設との交流 	A	支援学校や支援施設との交流を行いボランティアや共生の意義を学ぶことができた。また周辺地域への清掃活動等も地域社会と連携して行った。
		心豊かな生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> 校内献金活動を通して他者への慈愛の精神の醸成を図る 		
	社会との関わりを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 政治参画への意義を考える 	B	講師を招いての主権者教育を行い選挙への関心や政治参加への意識を深めた。単に政治の仕組みを学ぶだけでなく主権者として社会で自立しその構成員の一人として他者と連携することができる力を身につけることを図る。	
	特別支援教育	特別支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの有効活用及び関係機関との連携強化 個別の教育指導・支援計画の策定 ケース会議の充実 	A	スクールソーシャルワーカーと連携し、ケース会議を充実させ対応充実に努めた。スクールカウンセラー制度については利用者が減少傾向にあるため積極的な活用を促す。外部機関との連携も強化し支援体制の充実を図る。全職員対象の研修も実施し支援体制を強化する。

人権教育の推進	人権意識の向上	人権感覚の育成	<ul style="list-style-type: none"> 人権問題についての正しい理解を深める 人権講演の実施 	A	「共生」をテーマに講演を行い人権意識への理解を深めることができた。
	いじめ防止	未然防止・早期発見	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針の策定 個人面談の実施 いじめ実態把握調査の実施 	A	いじめについてはないと考えているのではなく起こっているかもしれないとの認識で実態把握や日頃の状況を注意して観察し、職員間の連携により未然防止に努める。
特別活動	国際交流の推進	韓国姉妹校との交流 その他の国際交流	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の交流を展開する 「総合的な学習」での韓国語講座の実施 英語圏の学校との交流 	B	熊本地震より昨年度中止となった韓国姉妹校との交流事業を1年ぶりに行いホームステイ等を通して国際理解を深めることができた。今後は英語圏との国際交流についても推進する。
	インターアクトクラブ活動の推進	国際感覚の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 奉仕プロジェクトへの参加 国際理解の推進 	A	生徒会主体で取り組んだ。地区大会参加を通して他校との交流を行い刺激を受け、台湾研修に参加し国際理解を深めることができた。また地域に根ざした活動を自分たちで考え実践する力を育てることができた。
	各種行事	宗教行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> 修養会を行いカトリックの理念を通じた人格形成を目指す 本校の守護の聖人である聖パウロの殉教の祝日に行う「聖パウロ音楽祭」を同窓会、幼稚園も参加して学園全体で行う 	A	修養会だけでなくクリスマスミサ等様々な行事への取組を幼稚園や同窓会も一緒になって行うことでミッションスクールに集う一体感を感じ取ることができ、その意義について学ぶ良い機会となった。
	部活動	部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 全国レベルの部活動への活動環境整備 文化系部活動合同でスプリングコンサートを開催し地域へ向けた活動発表を行う 	A	各種大会で活躍することができた。文科系部活動は地域での各種展示や演奏発表を行い地域貢献も含めた活動が出来た。また小学校へのスクールコンサートも数多く行った。環境整備だけでなくこうした活動を充実させることで生徒たちの心身の成長も図る。

次年度への課題および改善点

それぞれの分野において生徒一人ひとりに対してより細やかな対応ができるよう職員意識の高揚に努める。基礎学力向上に対して生徒への学習意欲の向上のために魅力ある授業の研究を職員全体で取り組みたい。また、今年度から新たに取組んでいる地域との連携やインターアクト活動についても発展させ、地域社会から信頼される学校を目指す。